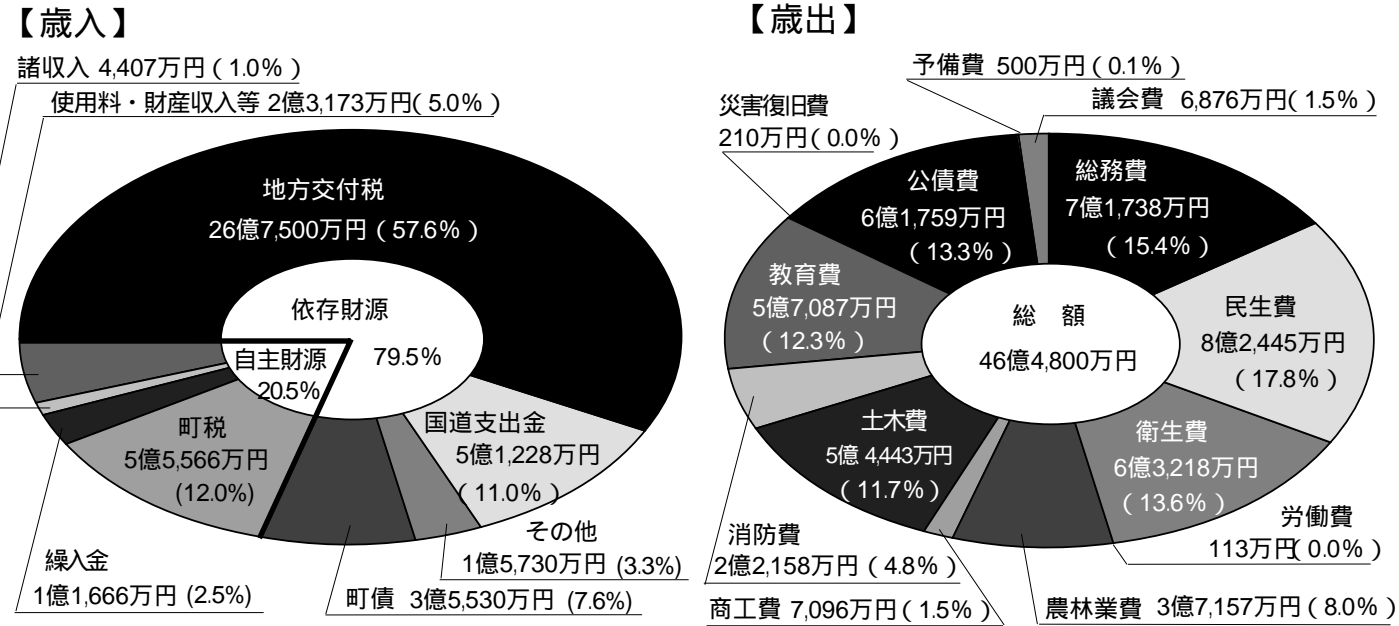


グラフ1

一般会計予算額の科目別内訳



【表2】(一般会計分) 町民1人当たり予算額

商工費	農林業費	労働費	衛生費	民生費	総務費	議会費
12,687円	66,435円	202円	113,031円	147,407円	128,264円	12,294円
子備費	公債費	災害復旧費	教育費	消防費	土木費	
894円	110,422円	376円	102,069円	39,617円	97,341円	

831,039円

平成24年2月末現在の住民基本台帳人口5,593人で計算しています。

依存財源 歳入の約8割を占める依存財源

一般会計予算額を科目別に見たのが上のグラフ1で、歳入は左上の円グラフです。国から交付される地方交付税が26億7,500万円(前年対比3.2%減)で歳入の57.6%を占めています。これに国・道支出金、地方譲与税、町債などを加えたものが依存財源と言われるもので、歳入全体の79.5%を占めています。

一方自主財源のうち町税は、5億5,566万円(前年度より3.5%増加しています)。

また、基金繰入金金は公共施設等整備基金の増額により前年対比70.5%増の1億1,666万円となります。この取り崩しで23年度末の一般会計基金残高は、積立分も含め36億1,915万円となる予定です。

町民1人当たり予算額83万1,039円

次に、右上の円グラフは歳出を科目ごとに表しています。歳出の13.3%を占める公債費は、事業を実施するときに借りたお金の償還金で6億1,759万円を支払うこととなりますが、昨年度から比較すると1億5,866万円の減額と

総務費では、役場庁舎内の増築工事及び多目的トイレの設置経費に3,333万円、民生費では、子ども手当等扶助費5,155人分に7,148万円。

農林業費では、森林の伐採後の確実な植林等を支援する「未来につなぐ森づくり推進事業」に1,131万円、土木費では、まちなか団地・特公債の建設整備に2億3,151万円、その他にも、町営住宅の屋根・外壁の改修工事に1,261万円を計上。

また、消防費では、防災計画ダイジェスト版の作成等に2,966万円、教育費では、機構改革に伴う中央公民館事務室の改修工事に2,061万円、中央公民館30周年記念事業、日本フィルセミナーコンサート事業等に5,811万円を計上しました。

このほかの主要事業については、4ページをご覧ください。

また、表2は、今年一般会計の予算額を町民1人当たりで割り返した金額です。町民5,593人の一人当たりの金額は、約83万1,039円となり、それぞれの科目に振り分けられた予算は、まちづくりや皆さんの暮らしに役立てられます。



平成24年度 津別町の予算
70億円の使い途

平成24年度の町の予算が、町議会の審議を経て決定しました。予算の総額は70億4,940万円で前年度比3.6%の減となりました。また、行政サービスの中心となる一般会計は、46億4,800万円で前年度比6.1%の減。厳しい経済情勢と財政状況の中、限られた財源を有効に活用し、町民が主役のまちづくりを着実に進めていきます。今月の特集では、町の予算内容について紹介します。

【表1】平成24年度会計別予算額の内訳

会計名	予算額	前年度比
一般会計	46億4,800万円	6.1%減
特別会計		
国民健康保険事業特別会計	9億810万円	1.3%減
後期高齢者医療事業特別会計	8,710万円	15.1%増
介護保険事業特別会計	4億5,770万円	24%増
介護サービス事業特別会計	2億8,060万円	1.7%増
下水道事業特別会計	3億8,950万円	0.1%減
簡易水道事業特別会計	4,330万円	14.9%減
企業会計		
上水道事業会計	2億3,510万円	14.8%増
合計	70億4,940万円	3.6%減

町の予算は「一般会計」「特別会計」「企業会計」に別れています。その中でも町民の生活全般にわたる施策を行うために経理するのが「一般会計」です。

平成24年度の一般会計の予算額は、表1のとおり46億4,800万円で対前年度比6.1%の減となりました。

減の主なものは職員給与費、公債償還金及び前年度実施した特定公共賃貸住宅建設事業です。

後期高齢者医療事業特別会計は平成24年度に後期高齢者の保険料率が見直され、増加が見込まれることから15.1%の増、簡易水道事業特別会計は給水施設整備事業等の減により14.9%の減となっています。

また、企業会計の上水道事業会計は中央監視装置等の更新により14.8%の増となっています。

平成24年度の予算総額は70億4,940万円となりました。

一般会計 前年度対比で6.1%の減

特別会計 前年規模を上回る特別会計